

未来の地球もカラフルに

～産学官民がパートナーシップを組みSDGsを学びながら実践するイベント～

団体名 ● 地域スポーツマネジメント研究室 / 代表者名 ● 西村貴之(人間科学部スポーツ学科・教授)

はじめに

持続可能な開発目標 (SDGs) を身近に感じてもらい、楽しい体験を通じてSDGsを「知っている」から「している」へと変化させることを目的に取組みをスタートした。全国46都道府県でパチンコホールを展開する株式会社ダイナムでは、地域共生の担当部局が設置されており、地域課題の解決に向けた取組みの実施を模索していた。地元の産学官民が連携し、持続可能なまちづくりのきっかけとなるようなイベント実施に向けた意見交換の中から、本イベント「未来の地球もカラフルに」が実行委員会形式で立ち上げられることとなった。

活動内容

名称：未来の地球もカラフルに

主催：未来の地球もカラフルに実行委員会(金沢星稷大学地域スポーツマネジメントゼミナール、石川県移動販売協会、株式会社ダイナム)
運営パートナー (Rethink PROJECT、株式会社沢野建設工房、株式会社石川ミリオンスターズ、石川日産自動車販売株式会社、株式会社大阪屋ショップ)

後援：金沢市

日時：2022年8月6日(土) 10:00～20:30

場所：ダイナム石川金沢近岡店(駐車場内特設ブース)

参加：本学学生17名

実行委員会メンバー／地域協力者15名

内容：①スポーツゴミ拾い②ゆるスポーツ体験(足つぽ100cm走、点字ブロックリレー、リアル野球盤ポッチャ【ミリスタ選手のサポート】、③ペットボトルツリーによるエコライトアップ、④かんな屑プール、⑤キッチンカー出店



かんな屑プール



エコライトアップ

以上の企画に関して、ゼミ内のプロジェクト担当学生が中心となり、実行委員会の一員として準備段階から参画した。各種の連絡調整、関係機関・団体への依頼、案内チラシ・ポスターの作成、物品調達、ブース運営の事前シミュレーション、当日のみ参加する学生スタッフの統括などのマネジメント業務を行った。

成果、結果の考察

実行委員会に参画した企業、運営パートナーの方々からは今後の発展可能性を感じさせる良い取組みとなったという好評価を得た一方で、8月炎天下での開催であったことや近隣小学校でCovid-19のクラスターが発生し地元の子ども達への声掛けが憚られたこともあり、来場者数は300名程度と事前の見込みに比べ伸び悩んだ。

本研究室としては、民間企業との連携によるプロジェクト実施に関してはこれまでに実績が少なく、手探りの点も多かったが、共通テーマや課題意識の共有を通じて、スムーズにプロジェクトが展開できた。また、このような産学官連携に興味関心はあるが、何から始めるべきかで悩んでいるという企業ニーズが一定程度存在することも認識できた。

今後の課題、展望

SDGsを「知っている」から「している」というテーマに対して、「きっかけ」をつくることはできたが、イベント後の「継続」においては課題が残る。今後、ゼミ内の他のプロジェクトにおいても、「スポーツ×SDGs」の視点を取り入れていきたい。



スポーツゴミ拾い



リアル野球盤ポッチャ